

項目	内容
名称	ベニノキ、アナトー [英]Annatto、Achiote、Achiotillo、Annato [学名]Bixa orellana
概要	ベニノキは南米原産のベニノキ科の常緑樹で、高さ2～8 m程度に生長する。主に種子が食品の着色料として利用されている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p> <p>■ 食品添加物 ・ 既存添加物 アナトー色素 (アナトー/カロチノイド/カロチノイド色素/カロテノイド/カロテノイド色素) : 着色料 ・ 天然香料基原物質リスト ベニノキが収載されている。</p> <p>■ 海外情報 ・ 米国では、GRASに該当する。</p>
成分の特性・品質	<p>■ 主な成分・性質 ・ カロテノイド類 (ビキシシン (bixin) 、ノルビキシシン (norbixin) 、オレリン) などを含む (29) (33) 。</p>

分析法	・葉水抽出物中の成分をGC/MS法にて分析した報告がある (PMID:23410184)。
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない
ヒトの生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない
で脳の感覚器	調べた文献の中に見当たらない
評価免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない
肥満	調べた文献の中に見当たらない
その他	調べた文献の中に見当たらない
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:12842184) Food Chem Toxicol. 2003 Aug;41(8):1157-64. (PMID:23410184) BMC Complement Altern Med. 2013 Feb 14;13:32. (PMID:27613468) Ann Allergy Asthma Immunol. 2016 Sep;117(3):331-3. (PMID:10434850) Br J Nutr. 1999 Mar;81(3):235-42.